

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年11月27日

計画の名称	大野市における公共下水道施設の防災・安全向上計画														
計画の期間	令和02年度 ~ 令和05年度（4年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	大野市														
計画の目標	下水道施設の防災、安全対策を進め、安全で安心な暮らしを実現し、水質汚濁による環境負荷を軽減する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		139	A	139	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（ R2当初 ）	（ R4末 ）	（ R5末 ）
1	R5末までに、ストックマネジメント計画に基づいた処理場および管路施設の対策率を 0 %（ R2当初 ） から 1 0 0 %（ R5 ） に向上させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた処理場および管路施設における改築工事の進捗率	0%	55%	100%
	改築済み設備数（設備） / スtockマネジメント計画に基づいた改築する設備数（ 2 2 設備 ）			
2	R5末までに、ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査を 0 %（ R2当初 ） から 1 0 0 %（ R5 ） に向上させる。			
	ストックマネジメント計画に基づいた点検・調査の進捗率	0%	59%	100%
	点検・調査済みの管渠の延長（ m ） / スtockマネジメント計画に基づいた点検・調査する管渠の延長（ 3,500m ）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大野市	直接	大野市	終末処 理場	改築	大野市下水処理センター 等の改築	電気計装設備等（設計含む）	大野市	■	■	■	■		121		策定済
	A07-002	下水道	一般	大野市	直接	大野市	管渠（ 汚水）	改築	管路施設の点検・調査	管渠等の点検・調査等	大野市	■	■	■	■		18		策定済
											小計						139		
											合計						139		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い、事後評価を実施	令和6年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	ストックマネジメント計画に基づいた処理場、管路の改築する設備22箇所、点検・調査を行う管渠の延長3,500mについて、計画期間内に実施し、下水道施設における防災、安全対策を進めることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

引き続き新規計画において、ストックマネジメント計画に基づいた設備の改築、管路の点検、調査を行い、下水道施設における防災、安全対策を進める。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	改築済み設備数（設備） / スtockマネジメント計画に基づいた改築する設備数（ 2 2 設備）		
	最 終 目 標 値	100%	
	最 終 実 績 値	100%	
2	点検・調査済みの管渠の延長（ m ） / スtockマネジメント計画に基づいた点検・調査する管渠の延長（ 3,500m ）		
	最 終 目 標 値	100%	
	最 終 実 績 値	100%	